

総合工学委員会・機械工学委員会合同
工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会（第25期・第9回）議事要旨

1. 日 時 令和4年10月6日（木）10:00～12:00
2. 会 場 遠隔会議（主催会場：東京大学辻教授室）
3. 出席委員（敬称略、*参考人）
大倉 典子、中川 聡子、宮崎 恵子、遠藤 薫、小野 恭子、鎌田 実、
合田 幸広、庄司 裕子、須田 義大、辻 佳子、永井 正夫、野口 和彦、
平尾 雅彦、松岡 猛、松尾 亜紀子、宮崎 久美子、水野 毅、向殿 政男、
矢川 元基、矢野 育子、新井 充、萩原 一郎*
4. 配布資料
資料1-1 第25期・第8回議事録
資料1-2 第25期・第8回議事メモ
資料2-1 意思の表出の申出書「カーボンニュートラル施策の影響検討フレームの構築」
資料2-2 カーボンニュートラル施策の影響検討フレーム
資料2-3 カーボンニュートラル施策リスクマトリックス
資料3 Gサイエンス学術会議2023のテーマについて
資料4-1 意思の表出 工学システムに対する安心感等検討小委員会
資料4-2 意思の表出 安全におけるリスクアプローチ適用検討小委員
資料4-3 意思の表出 老朽および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に関する検討小委員会報告
資料5 「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」の公募について
5. 議事次第
 - (1) 前回議事要旨・議事メモを確認した
 - (2) カーボンニュートラル施策の影響検討フレームの構築（見解）について
 - ・意思の表出申請書
辻委員から、資料2-1に基づいて、意思の表出のスケジュールおよび申請書に関する事務局からの指摘事項について説明があり、その対応について議論した。
 - ・見解の内容（議事の順番を変更し、その他の後に議論した）
野口委員から、資料2-2および2-3に基づき、WGでの検討内容が報告され、ご意見を野口委員宛に送るよう依頼があった。辻委員からは、リスクフレームの活用事例作成に協力頂ける方は、連絡いただきたい旨、補足された。須田委員長から、分科会で意識共有が必要であるとの御指摘があり、改めて議論の場を設けることが提案された。
 - (3) Gサイエンス学術会議2023 執筆小分科会への推薦について
辻委員から、資料3に基づいて説明があり、「気候変動と関連する危機への対応」について分科会からの委員推薦の可否について議論した。

- (4) 各小委員会からの意思の表出について
- 工学システムに対する安心感等検討小委員会
大倉委員から、資料 4-1 に基づき、「工学システムに「安心」を感じる社会の在り方」の申出書の進捗について説明された。11 月 5 日開催される学術フォーラム開催についても合わせて紹介された。
 - 安全におけるリスクアプローチ適用検討小委員
野口委員から、資料 4-2 に基づき、「工学システムのリスクアセスメントのイノベーションへの課題と対応」の申出書の内容について説明された。タイトルを「工学システムに関するリスクアセスメントのイノベーションにおける課題と対応」に変更することとした。
 - 老朽および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に関する検討小委員会
新井委員から、資料 4-3 に基づき、「老朽および遺棄化学兵器の廃棄関連情報のアーカイブ化」の申出の検討について進捗が説明された。須田委員長から、内容を早急にとりまとめ、分科会内で共有するように要請があった。
- (5) 「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」について
辻委員から、資料 5 に基づき説明があり、分科会として安全・安心・リスクに関する学術のブランドビジョンを示す提案があり、その対応について議論した。
- (6) その他
- 安全工学シンポジウム
辻委員から、安全工学シンポジウムの今後について、主催者からの意見を実行委員会で報告したこと、および、現在、共催学会にアンケートを取っていることが報告された。
 - 次回
2023 年 1 月開催で検討することとなった。

以上